

令和5年度

山形市郷土館運営協議会

日 時 令和5年7月13日(木)
午前10時00分～11時00分
会 場 クリエイティブセンター-Q1交流ルーム1

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付
- 3 文化スポーツ推進監あいさつ
- 4 自己紹介
- 5 会長及び副会長の選出
- 6 会長あいさつ
- 7 報 告
令和4年度山形市郷土館事業報告について
- 8 協 議
令和5年度山形市郷土館事業計画(案)について
- 9 そ の 他
- 10 閉 会

山形市郷土館運営協議会委員名簿

任期：令和5年4月1日から令和7年3月31日まで

氏 名	職 業 等	備考
さだ ひろ みつ あき 貞 弘 光 章	山形市立病院済生館 病院事業管理者	
さ とう こと 佐 藤 琴	山形大学基盤教育院 准教授	
さ とう みよ こ 佐 藤 美代子	山形市立出羽小学校 教諭	
し むら なお よし 志 村 直 愛	東北芸術工科大学 芸術学部 歴史遺産学科 教授	
たけ はら かず お 竹 原 万 雄	東北大学東北アジア研究センター 上廣歴史資料学研究部門 助教	
はせがわ たみ こ 長谷川 多美子	山形市観光ボランティアガイド協会 運営委員	
やまの うち はげむ 山 内 励	東北芸術工科大学 非常勤講師	
わた なべ あきら 渡 邊 晃	山形県立博物館 館長	

(五十音順)

事務局名簿

文化スポーツ推進監	花輪 信二
次長（兼）文化創造都市課長	森 俊
課長補佐	山川 渉
課長補佐（兼）文化財係長	齋藤 仁
主幹	田辺 政則
地域おこし協力隊	今 のどか
郷土館職員	戸田 一彦

令和4年度 山形市郷土館事業報告

1 郷土館入館者数

令和4年度	令和3年度	前年比
32,202 ^人	20,554 ^人	+56.7(%)
		+11,648 ^人

令和4年度は、昨年度に比べて56.7%の増となった。入館者数は月平均2,700人程度。新型コロナの感染状況も次第に落ち着きをみせたことから、11月と3月はコロナ前も含めて過去最高の入館者数となった。

2 展示事業

(1) 常設展示

- ① 済生館が山形市の医療及び保健衛生の向上に果たした歴史
 - ・江戸～明治時代にかけての医学関係資料・医療機器（第5室・第8室）
 - ・ローレツ博士の遺品（第2室）
 - ・郷土出身の医療関係者に関する資料（第1室・第3室）
- ② 山形市の歴史
 - ・江戸～明治期の地図や記録などの資料（2階ホール）
 - ・明治14年に菊地新学が撮影した山形市街地の写真（2階ホール）
 - ・山形城出土の鬼瓦や屋根瓦などの展示（1階ロビー）
- ③ 建造物としての重要文化財「旧済生館本館」の魅力の紹介
 - ・「旧済生館本館」移築復原工事に関する資料の展示（第7室）
 - ・3・4階（通常非公開）の写真パネルによる展示紹介（1階ロビー）

(2) 企画展示

- ① 「令和4年度 山形市郷土館・郷土資料収蔵所 新収蔵品展」
令和3年度に郷土館及び郷土資料収蔵所で寄贈を受けた資料を展示・紹介
 - 開催期間 令和4年6月25日（土）～8月21日（日）
 - 展示内容 令和3年度の寄贈資料6点
 - ・ニセミノ
 - ・ハエ取り器
 - ・鈴木家文書 ほか
 - 開催期間中の入館者数 4,643人
- ② 「令和4年度 山形市郷土館秋季企画展
城下町から中心市街地へ-江戸時代から昭和の山形-」

新陳代謝を繰り返し、変り続ける山形の街並み。江戸時代から昭和への移り変わりを古地図や写真、絵葉書などで振り返る展示を行った。
 - 開催期間 令和4年10月29日（土）～12月4日（日）
 - 展示内容 古地図、古写真、絵葉書など
 - 開催期間中の入館者数 4,603人

- ③ 「令和4年度 山形市文化財成果展」
 令和3年度に山形市内で行なわれた遺跡調査成果や、令和2年度の新指定文化財等について、パネルによる紹介展示を行う。
- 開催期間 令和5年1月21日（土）～2月19日（日）まで
 - 展示内容 令和3年度の文化財保護業務の成果に関する写真パネル及び解説パネルなど
 - ・発掘調査（国指定史跡 山形城跡）
 - ・新指定の市指定文化財（最上家関係書状）
 - ・日本遺産「山寺と紅花」関係資料
 - 開催期間中の入館者数 1, 386人

3 普及事業

(1) 『郷土館だより』の発行

令和5年3月に第97号を発行。（800部印刷）

○掲載予定内容

- ・寄稿文『三島通庸の“遷都”の思想』
 （山形大学学術研究院（人文社会科学部主担当）准教授 小幡圭祐）
- ・山形市所有文化財「三部抄」の県指定文化財への指定について
- ・令和4年度 郷土館の事業等紹介
- ・令和5年度 郷土館の事業予定等紹介

○送付者（R4年度実績） 452部

内訳	・博物館	58部（58ヶ所）
	・医療関係機関	42部（42ヶ所）
	・行政機関（市町村教委）	34部（34ヶ所）
	・行政機関（山形市）	140部（87ヶ所）
	・その他（その他団体）	74部（47ヶ所）
	・個人（寄贈者等）	104部（104ヶ所）

※残り約340部を郷土館、文化創造都市課等で配付
 平成18年度よりホームページにおいて公開している。

(2) 「郷土館ナイトミュージアム」の開催【新規事業】

開館時間を3時間延長し、重要文化財の旧済生館本館三層楼の3・4階の灯りを点けて、来館者が闇夜に浮かび上がる普段と異なる雰囲気郷土館の姿を写真に収めたり、館内展示の見学を行えるようにした。

○実施概要

開催日時：10月 8日（土）来館者30人
 11月 4日（金） 〃 53人
 2月10日（金） 〃 24人 計107人

開催時間：午後4時30分～7時30分
 申し込み：不要

(3) 有識者による解説付き見学会の開催

講師に元郷土館運営協議会委員の小形利彦氏を迎えて、配布資料を基に館内展示資料の説明と通常非公開の3・4階を見学した。

○実施概要

開催日時： 6月25日(土) 参加者9人
11月19日(土) 参加者9人
開催時間： 午前10時30分～12時
申 込： 要申込

(4) 旧済生館本館 3・4階特別公開の実施

アンケートなどで回答の多い3・4階の見学要望に応えるとともに、より多くの市民に旧済生館本館の魅力を感じてもらえる機会として実施。新型コロナウイルス感染症対策のため、事前申し込み制とし、見学時間を細かく時間を区切るなどの感染対策を行いながら実施。

- 内 容： 通常非公開としている3・4階の公開(説明板による解説)
- 参加者： 8月27日(土) 13人
- 開催時間： コロナ対策として20分づつの見学時間で、1枠3人までとし、時間を分散して3・4階を見学した。

(5) デジタルアーカイブの作成 【新規事業】

山形大学附属博物館が中核館となって組織する「山形アーカイブ実行委員会」に参加し、事業の一環として、山形市郷土館の収蔵資料の一部をデジタルアーカイブ化して公開した。

- 写真 140点 ○地図 9点 ○絵葉書 12点 ○文書38点
- 絵画 11点 ○その他 5点 合計215点

山形アーカイブ URL

<https://cherry.yum-archives.net/yamagata-archive/>



(6) 団体等の見学への対応

下表の団体客の見学申し込みを受け入れた。

○団体入館者数

	令和4年度	令和3年度
団体数	70団体	60団体
見学者数	1,830人	1,432人

○主な見学団体

- ・旅行会社によるツアーなどの一般(34団体 608人)
- ・大学生(6団体 161人)
- ・市内及び周辺市町村の小・中・高校生(30団体 1,061人)

(6) 広報活動

郷土館で開催されるイベントや、出版社・マスコミに取材されたことを周知するため、公式ホームページ、フェイスブックページに掲載して市内外へPRした。また、これまでロビーで放映していた旧済生館本館について紹介したDVDを動画に変換し、市の公式YouTubeチャンネルで公開した。

(7) 郷土館の撮影・取材及び掲載への協力

放送番組、観光情報誌、会員向け広報誌等への取材協力を行った。

テレビ番組「なるほど！歴史一山形お宝大発見」、書籍「ことりっぷ山形」、書籍「まっふる山形“24」、書籍「るるぶドライブ東北ベストコース24」など。

○掲載等許可件数

	令和4年度	令和3年度
掲載許可	18件	17件
放送許可	1件	3件
所蔵資料閲覧件数	2件	0件
所蔵資料貸出件数	0件	1件

4 施設の維持管理

- (1) 令和4年2月の豪雪により、1階廻廊屋根軒部（南側）の瓦が軒先までせり出し、屋根からの落雪に伴い、軒先瓦がはがれ落ち、破砕した。軒先瓦約10数枚が脱落し破砕。2月28日付けで文化庁に毀損届、4月26日付けで修理届を提出。令和4年6月～8月に瓦補修工事を実施
- (2) 重要文化財旧済生館本館の保全及び事故等の防止を目的として、開館中における巡回点検を行った。
- (3) 火災報知器等の防火設備の整備・点検（8月・2月）を実施。
- (4) 消防署との連携のうえ、消防訓練（6月・11月・1月）を実施。
- (5) 館内外の清掃の徹底並びに庭の美観の維持や樹木等の剪定（9月）と雪囲い（11月）を実施。
- (6) 建物施設のこん虫等防除保全（8月）を実施。

5 その他

- (1) 三層楼ライトアップの継続（18時～22時まで。ただし冬季は日没時より。）
- (2) 来館者へのサービス向上
敷地内植物から採取した花の種の配布、及び手作りの葉の配布を行った。

令和5年度 山形市郷土館事業計画（案）

1 運営方針

- (1) 明治初期の擬洋風建築の傑作といわれる国指定重要文化財「旧済生館本館」の建物の保存と活用を図る。
- (2) 郷土の医学や歴史に関する資料を収集・展示する資料館としての維持管理・運営を行う。
- (3) 常に来館者を意識した事業及び日常業務を行い、市民、観光客ともに親しみや興味を持ってもらえる、山形市の郷土の魅力を発信できる施設を目指す。

2 主な事業

(1) 展示活動

医学資料及び歴史資料について常設展示を行い、山形市における医療の歴史及び郷土史を紹介する。併せて、魅力ある企画展を実施し入館者の増加を図る。

- ① 展示品の入れ替えを実施し、解説等を整備することで、収蔵資料の活用を図る。
- ② 山形市における医療及び郷土の歴史(昭和期を中心にして)について展示を行なうことで、山形市の郷土の歴史・文化を紹介する。
- ③ 企画展の開催

○山形市郷土館・郷土資料収蔵所 新収蔵品展

(令和5年7月15日～8月20日)

令和4年度に山形市郷土館及び郷土資料収蔵所で新たに寄贈を受けた資料を展示することで、新規資料の活用及び周知を図る。

なお、令和4年度に郷土館及び郷土資料収蔵所へご寄贈いただいた資料は次のとおり。

- ・ 水野家文書 25点 (収蔵所)
- ・ 鈴木家文書 (追加) 43点 (収蔵所)
- ・ うるし搔き道具 1式 (収蔵所)
- ・ 内科醫術開業免状 1枚 (郷土館)
- ・ 修士論文「山形の擬洋風建築の特徴とデザイン・モチーフに関する研究－三島通庸の残した建築遺産－」(郷土館)

○秋季企画展 (やまがた秋の芸術祭連携企画)

(仮称)「東北芸術工科大学ルネサンス絵画研究会との連携展覧会」

(令和5年10月～11月頃)【新規事業】

東北芸術工科大学のルネサンス絵画研究会と連携し、山形市郷土館(旧済生館本館)の建物や収蔵資料の医療器具などをモチーフにした絵画を展示する展覧会を企画している。やまがた秋の芸術祭とも連携し街なか回遊を促すとともに、大学生やアーティストの目線から捉えた郷土館の新たな魅力を、幅広い年代の方に見てもらおう機会を創出する。

○山形市文化財成果パネル展（やまがた冬の芸術祭連携企画）
（令和6年1月～2月頃）

「やまがた冬の芸術祭」にとも連携し、令和4年度に山形市内で行なわれた遺跡調査成果、新指定文化財及び文化財の活用等について、写真及びパネルによる紹介を行ない、山形市内の文化財について普及・啓発を図る。

⑤デジタルアーカイブの作成

R4に引き続き山形大学附属博物館が中核館となって組織する「山形アーカイブ実行委員会」に参加し、事業の一環として、本館建造物及び収蔵資料の一部のデジタルアーカイブの作成を行う。

(2) 普及活動

郷土館の魅力を発信するため、次のような活動を行う。

- ① 郷土館ナイトミュージアムの開催。郷土館の知られざる魅力である夜の雰囲気来館者に味わってもらうため、閉館時間を午後7時30分まで延長する。（春・夏・秋・冬の四季にあわせて開催予定）【事業拡充】
- ② 有識者の解説付き見学会の実施。（年度内2回実施予定）
令和5年度第1回を7月1日（土）に開催
講師：小形利彦氏（元郷土館運営協議会委員）。参加者15人
- ③ 3・4階特別公開（年度内2回実施予定）
- ④ 職員の来館者へのおもてなし力の向上のため、外部講師を招いた接遇研修の実施。【新規事業】
- ⑤ 「郷土館だより」の発行
- ⑥ 市ホームページ、市フェイスブック、市公式LINE及び『広報やまがた』での事業の周知活動。
- ⑦ 郷土館独自のフェイスブックページ・Instagramのアカウント開設と情報の発信【新規事業】



- ⑧ 一般刊行物への写真掲載及びテレビ取材・撮影への協力

3 アンケートの実施

入館者の傾向や郷土館への希望などを把握するため、期間を定めた来館者アンケートを実施する。

4 施設の維持管理

山形市郷土館は、国指定重要文化財「旧済生館本館」を活用した施設のため、建物の適切な維持管理及び周辺環境の維持管理を行い、文化財の保護に努める。また、防災設備の維持管理により、災害の防止に努める。

- (1) 重要文化財旧済生館本館の保全及び事故等の防止を図るため、開館中における巡回点検を強化する。
- (2) 火災報知器等の防火設備の整備・点検（8月・12月）を実施。
- (3) 消防署との連携のうえ、消防訓練（5月・10月・1月）を実施
- (4) 館内外の清掃の徹底並びに庭の美観の維持や樹木等の剪定（夏季）と雪囲い（冬季）を実施。
- (5) 建物施設のこん虫等防除保全（7月）を実施。

5 その他

- (1) 三層楼ライトアップ（18時～22時まで。ただし冬季は日没時より。）
- (2) 開館時間の延長（霞城観桜会、花笠まつりの期間に依頼があり、対応を予定）
- (3) 他博物館・美術館との情報交換
- (4) 新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、対策を講じながら、事業の推進を図る。

月別入館者数

	4年度	3年度	前年比	2年度	元年度	30年度
4月	4,173	1,986	2.10	7	7,774	5,630
5月	3,300	1,591	2.07	152	4,938	2,795
6月	2,029	1,358	1.49	692	3,526	2,180
7月	2,026	1,624	1.25	1,237	3,092	1,803
8月	2,728	1,641	1.66	1,352	4,192	3,043
9月	2,703	1,674	1.61	2,082	3,486	2,775
10月	3,703	2,478	1.49	2,800	3,929	3,192
11月	3,864	3,365	1.15	3,679	3,626	3,632
12月	1,423	1,279	1.11	1,139	1,525	1,909
1月	972	784	1.24	370	1,602	1,034
2月	1,787	1,116	1.60	846	1,918	1,902
3月	3,494	1,658	2.11	1,526	2,068	2,391
計	32,202	20,554	1.57	15,882	41,676	32,286

※令和2年度は4月1日～5月17日まで臨時休館

郷土館入館者数の推移

年度	有料入館者数(人)		減免入館者数(人)			総計(人)	入館料(円)
	大人	小人	大人	小人	土曜小人		
平成13年度	9,804	1,196	1,508	894	573	13,930	2,039,550
平成14年度	5,747	829	4,290	1,155	278	12,299	1,204,920
平成15年度	8,831	893	552	783	396	11,455	1,802,990
平成16年度	9,832	977	496	1,096	375	12,776	2,016,640
平成17年度	8,917	677	712	1,171	227	11,704	1,811,380
平成18年度	8,815	596	1,186	1,123	219	11,939	1,806,900
平成19年度	9,292	619	745	1,090	249	11,995	1,900,900
平成20年度	8,530	911	688	1,179	276	11,584	1,777,780
平成21年度	—	—	—	—	—	25,509	—
平成22年度	—	—	—	—	—	26,269	—
平成23年度	—	—	—	—	—	22,939	—
平成24年度	—	—	—	—	—	25,687	—
平成25年度	—	—	—	—	—	23,303	—
平成26年度	—	—	—	—	—	28,420	—
平成27年度	—	—	—	—	—	25,758	—
平成28年度	—	—	—	—	—	26,511	—
平成29年度	—	—	—	—	—	28,980	—
平成30年度	—	—	—	—	—	32,286	—
令和元年度	—	—	—	—	—	41,676	—
令和2年度	—	—	—	—	—	15,882	—
令和3年度	—	—	—	—	—	20,554	—
令和4年度	—	—	—	—	—	32,202	—

- 備考 ; ① 入館料 ; 平成21年度4月より全面無料化
 ② 休館日 ; 平成21年度より年末年始(12/29~1/3)のみとした。
 ③ 平成14年度は、保存修復事業により、一部展示室を閉鎖したため、
 6月~8月まで入館料を無料にした。
 ④ 平成18年度は、廻廊床面塗替えのため、9月5日~16日まで入館料を無料とした。
 ⑤ 平成22年度は、東日本大震災の影響のため、平成23年3月12・13・16~31日まで
 臨時休館とした。
 ⑥ 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、4月1日~5月17日まで
 臨時休館とした。

令和4年度 山形市郷土館アンケート調査

1. 通年実施

新型コロナウイルス感染症の対策として、不特定多数が筆記具等に触れるリスクがあるアンケート記入コーナーの使用を停止したため、令和4年度は通年アンケートを実施しなかった。

2. 全入館者実施

新型コロナウイルス感染症の対策として、アンケート用紙及び記載用筆記用具を入館者ごとに配付する方式により実施した。また、回収した筆記用具の消毒等の都合により、1日単位で実施し、比較的入館者数の多い9月の日祝日のうち2日間実施した。

○実施日 令和4年9月23日（金・祝） 午前9時から午後4時30分
9月25日（日） 午前9時から午後4時30分

○実施数 ・配布数200件 ・回収数157件（回収率78.5%）

3 アンケート結果

(1)入館者の居住地

項目	山形市内	山形県内	山形県外	日本国外	未記入	計
計	13	9	132	3	0	157
割合	8.3%	5.7%	84.1%	1.9%	0.0%	100.0%

(2)入館者の年齢

項目	山形市内	山形県内	山形県外	日本国外	未記入	計	割合
10歳未満	1	0	1	0	0	2	1.3%
10代	1	0	5	0	0	6	3.8%
20代	1	6	23	1	0	31	19.7%
30代	1	0	16	0	0	17	10.8%
40代	4	3	26	0	0	33	21.0%
50代	2	0	28	0	0	30	19.1%
60代	3	0	21	0	0	24	15.3%
70代	0	0	10	2	0	12	7.6%
80歳以上	0	0	1	0	0	1	0.6%
未記入	0		1	0	0	1	0.6%
計	13	9	132	3	0	157	100.0%

(3)入館の目的

来館の目的	山形市内	山形県内	山形県外	日本国外	未記入	計	割合
観光	6	7	108	1	0	122	77.7%
視察や研修など	1	0	10	2	0	13	8.3%
たまたま通りかかって	6	2	13	0	0	21	13.4%
その他	0	0	1	0	0	1	0.6%
未記入	0	0	0	0	0	0	0.0%
計	13	9	132	3	0	157	100.0%

(4)入館回数

項目	山形市内	山形県内	山形県外	日本国外	未記入	計	割合
初めて	6	8	123	2	0	139	88.5%
2回目	5	1	7	0	0	13	8.3%
3回目以上	2	0	2	1	0	5	3.2%
未記入	0	0	0	0	0	0	0.0%
計	13	9	132	3	0	157	100.0%

(5)郷土館を知ったきっかけ

項目	山形市内	山形県内	山形県外	日本国外	未記入	計	割合
観光雑誌(パンフレットなど)	2	4	46	0	0	52	34.9%
新聞やテレビなど	0	1	0	0	0	1	0.7%
旅行者(ツアーなど)	0	0	0	0	0	0	0.0%
インターネットの観光情報	0	1	41	1	0	43	28.9%
郷土館ホームページ	2	0	3	1	0	6	4.0%
その他	3	0	17	1	0	21	14.1%
未記入	6	2	18	0	0	26	17.4%
計	13	8	125	3	0	149	100.0%

(6)来館して興味・関心を抱いたもの(複数回答可)

項目	山形市内	山形県内	山形県外	日本国外	未記入	計	割合
建物	6	9	102	1	0	118	48.4%
医学資料	5	2	71	3	0	81	33.2%
郷土資料	8	2	31	0	0	41	16.8%
特になし	0	0	3	0	0	3	1.2%
その他	0	0	0	0	0	0	0.0%
未記入	0	0	1	0	0	1	0.4%
計	19	13	208	4	0	244	100.0%

(7)意見・感想等

①建物について

- ・旧病院とは知らなかった。建物に入ってみてよりすばらしさを感じました。
- ・すばらしい建物に感動し楽しかったです。ありがとうございました。
- ・素敵な建物でしたのでもっと知名度が上がるといいですね。若い人には”インスタ映え”などで盛り上がるかもしれません。
- ・貴重なものがたくさん見られて満足度高かったです。建物もレトロでかわいい。よい経験ができました。
- ・当時の建築を実際に目にすることのできる貴重な遺産だと感じました。これからも大切に遺して行ってほしいです。
- ・とても美しく素敵な建物に感動しました。保存管理大変だなと思いますがありがとうございました。
- ・バイオハザード等のゲームの舞台になりそうな建物が良かった。これからの時代、そういったサブカルチャーとコラボすると観光客が増えると思います。
- ・とても素敵な建物でした。大事に保存して行って下さい。
- ・中庭がきれいでした。
- ・大変面白い建物だと思いました。
- ・昔の病院は初めて見るものだったのですごいと思いました。
- ・擬洋風建築が好きなのでとても楽しかったです。
- ・中庭がとても素敵。貴重な資料も見られ満足です。

②資料・展示について

- ・展示内容がとても面白かった。第8室以外でも展示物を撮影している人を見かけて少しモラル的に残念と思った。
- ・貴重な資料を拝見できました。
- ・細かくてじっくり読むことができませんでした。(歳のせいです)またゆっくり見学に来たいです。ありがとうございました。
- ・蘭学に始まる近代医学の発展に興味深かったです。
- ・近代の医学資料が見れて良かったです。初めて見ました。
- ・医療器具が生々しくて興味深かった。
- ・昔の人の字がきれい。
- ・昔の医療器具を見て当時と現在の差を考えると昔の人は大変だったろうなと感じた。
- ・解体新書など教科書でしか見たことないものが実際に見ることができて不思議な気持ちになりました。
- ・偶然に立ち寄らせていただきましたがとても興味深い物を見させてもらいました。
- ・過去の素晴らしい建物と実際に使用された医学資料など大変良い資料館でした。

③要望など

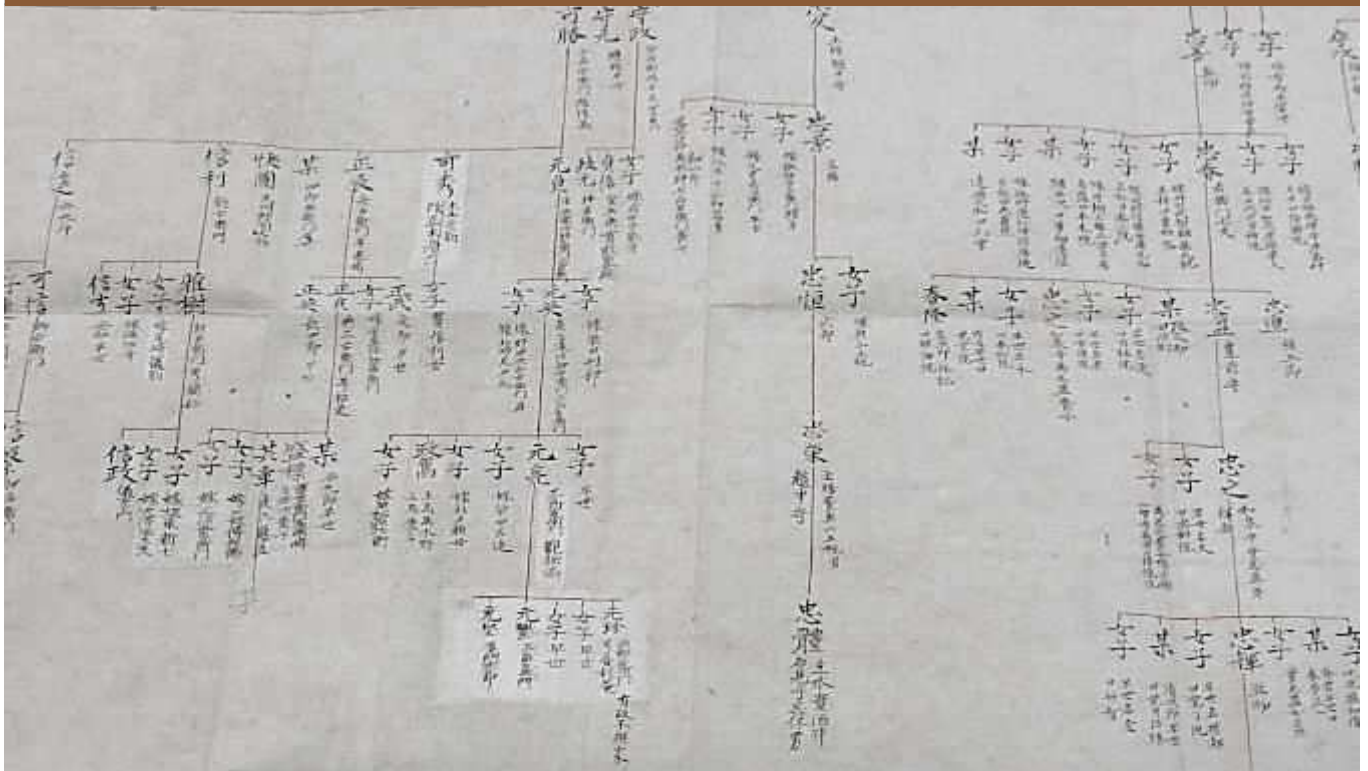
- ・ショーケースが一部汚れが目立った。
- ・展示物にクモの巣状のホコリがついているところがあったので払ってほしいです。
- ・授業で来館する小学生などのために子供向けの解説があってもいいかなと思いました。

④感想など

- ・薬局に勤めているので来てよかったです。
- ・城内に病院。山形の医療に向ける熱意がすばらしい。すてきな病院です。
- ・有料でもいいのでは？と思うくらい良かったです。医療従事者なので特に楽しめました。
- ・とても貴重なものが見れて良かったです。
- ・視力検査のマークがかわいかった。
- ・貴重な物を見学できました。無料開放ありがとうございます。
- ・すばらしいですね
- ・無料だったがとても資料が多くおもしろかった。資料館(郷土館)とセットにして保存してほしい。
- ・江戸城下、宿駅、絵図に興味がありました。
- ・とても良かったです。
- ・残していただいて良かったと思います。建物もそうですし、医学の進歩も感じられました。
- ・残してくれてありがとう。
- ・昭和40年代山形に住んでいたのでなつかしかった。
- ・貴重なものでした。
- ・素晴らしいです。建物も医学の展示も！
- ・とてもすばしかったです。
- ・スタッフの方が柔軟に対応してくださり助かりました。ありがとうございました。
- ・ありがとうございました。
- ・おもしろかったです。
- ・来れてよかったです。
- ・無料で見学させていただきありがとうございました。
- ・本当に美しく保たれていて感動しました。山形が大好きになりました。受付の方もとてもステキ
- ・とてもおもしろかったです。
- ・思っていたより充実していてよかったです。
- ・多分小学校の時に来ている。大人になって受けるものが多くとても有意義だった。

山形市郷土館・郷土資料収蔵所 新収蔵品展

～山形藩水野氏を読む～



令和5年7月15日(土)～8月20日(日)
 開館時間 9:00～16:30 (会期中無休)
 入場料：無料
 会場：山形市郷土館1階ロビー
 山形市霞城町1-1 (霞城公園内)

【主催】山形市企画調整部 文化創造都市課 文化財係
 TEL：023-641-1212 (内線：626・627) FAX：023-624-9618
 E-mail：bunka@city.yamagata-yamagata.lg.jp



水野家文書ほか、令和4年度に新たに収蔵した
郷土資料をご紹介します。